

白山の恵みを次世代へ贈る「白山市SDGs未来都市ビジョン」

石川県白山市（2018年度選定）

1. 地域の特徴と課題及び目標

白山市は県都金沢市の南西部に位置し、人口は金沢市に次ぎ県内で2番目に多い都市で本市の平野部の人口は増加傾向にあるが、その一方で本市の大部分を占めている霊峰白山の麓にある山間部の地域では人口減少が進んでいる。本市の目標として、山間部において経済発展や豊かな生活を実現し、その成果を市全体に還元するサイクルの確立を目指す。

2. 関連するゴール

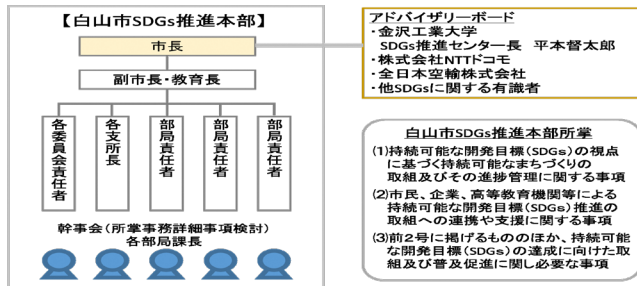


3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)

過疎化・高齢化が進む市内の山間部で、地域資源を活かした魅力的な生涯学習エリアを構築するとともに、産学官民が共創して社会課題に取り組み、経済・社会・環境が調和されたまちづくりを目指す。

4. 自治体SDGs推進等に向けた取組

全庁体制でSDGsを推進するため行政体内部に市長を本部長とする「白山市SDGs推進本部」を設置し、外部有識者から助言・提言を受けながら施策を進めていく。



5. 取組推進の工夫

多様なステークホルダーと連携協定を締結しSDGsを推進
 ・大学、通信会社：IT技術による社会課題解決や人材育成
 ・大学研究機構：ジオパーク等の連携
 ・地元青年会議所、新聞社：市民への普及啓発等
 ・地元電力会社：再生エネルギーの活用や観光振興

6. 取組成果

【SDGs若者チャレンジ】

金沢工業大学の授業と連携し、白山市河原山町でのフィールドワークを通じ、地域における問題発見から課題解決の提案までの過程・方法をチームで検討することにより、里山の可能性を理解し、自然リソースを活用したビジネスモデルを考案した。地域にとっては、地域外・若者の視点が入ることで、地域の課題や魅力の再発見につながった。

【山間部モデル地区】

山間部モデル地区におけるこれまでの取り組みを冊子にまとめ、整理するとともに、他地域への横展開を図っていく。

【市民協働で創るまちづくりの推進】

地域と行政がともに持続的な地域づくりに取り組む「市民協働で創るまちづくり」を推進する。

7. 今後の展開策

・全ての市民が地域の持続的発展に関わる環境を産学官連携して推進する。
 ・ユネスコ世界ジオパークの認定（令和5年5月）を受けての活動を推進する。
 ・市内全地区において設立された地域コミュニティ組織（市民協働で創るまちづくり関連）で地域が主体となって取り組む活動を推進する。

8. 他地域への展開状況（普及効果）

・市民向け出前講座や大学への出前授業
 ・ジオパークを通じた情報発信

SDGs未来都市進捗状況結果報告シート

2018年度選定

石川県白山市

2024年9月

SDGs未来都市計画名

白山市 S D G s 未来都市計画（2021～2023）
～白山の恵みを次世代へ贈る「白山市 S D G s 未来都市ビジョン」～

石川県白山市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

（1）2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2023年	2030年（目標値）	達成度 （％）	第3期計画（または独自計画）の KPIへの反映状況
1	「白山ソサエティ」への進出・参画企業数【8.2,8.5】	2020年11月 5 社	2023年11月 19 社	2030年 50 社	31%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き進捗を確認していく。
2	「白山ソサエティ」への進出・参画企業数が雇用または事業を委託する白山市在住の女性の人数【4.4,5.b】	2020年11月 0 人	2023年11月 0 人	2030年 500 人	0%	目標達成度が低いため、第3期計画では進捗管理を行うとともに、原因究明に努め取組達成へ向け推進を図る予定。
3	子供、女性、高齢者、障害者、介護者等が自治運営に参画し、企業と社会課題を解決する件数【4.3,4.7】	2020年11月 0 件	2023年11月 21 件	2030年 20 件	105%	目標が達成できており、第3期計画ではKPIを30件に見直し、更なる推進を図る予定。
4	「白山ソサエティ」における子育て支援事業の利用件数【5.c,11.a】	2020年11月 0 件	2023年11月 6 件	2030年 50 件	12%	目標達成度が低いため、第3期計画では進捗管理を行うとともに、原因究明に努め取組達成へ向け推進を図る予定。
5	自然資産の持続的な活用による民間企業・団体との連携事業・活動の創出数【15.4】	2020年 0 件	2023年11月 3 件	2030年 10 件	30%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
6	自然資産の持続的な活用による民間企業・団体との連携事業・活動による年間売上【15.4】	2020年 0 百万円	2023年11月 0 百万円	2030年 100 百万円	0%	目標達成度が低いため、第3期計画では進捗管理を行うとともに、原因究明に努め取組達成へ向け推進を図る予定。
7	鳥獣による農作物被害額【15.4】	2019年 680 万円	2022年 626 万円	2030年 50 万円	9%	目標達成度が低いため、第3期計画では進捗管理を行うとともに、原因究明に努め取組達成へ向け推進を図る予定。
8	デジタル技術活用による自然災害未然防止件数【13.1,15.2】	2018年7月 0 件	2022年 3 件	2030年 10 件	30%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。

（2）自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2023年 実績	2023年 目標値	達成度 （％）	第3期計画（または独自計画）の KPIへの反映状況
1	「白山ソサエティ」への参画	「白山手取川流域SDGs認定制度」実践者、実践企業認定数	2020年11月 0 件	2023年11月 2 件	2023年 10 件	20%	目標達成度が低いため、第3期計画では進捗管理の徹底を行い取組達成へ向け推進を図る予定。
2	「白山ソサエティ」への参画	地域固有の環境や文化を生かして独自に作成した教材の数	2020年11月 2 個	2023年11月 4 個	2023年 6 個	50%	目標達成度が低いため、第3期計画では進捗管理の徹底を行い取組達成へ向け推進を図る予定。
3	「白山ソサエティ」への参画	地域固有の環境や文化を生かしたSDGs教育を受けた受講生の人数	2020年11月 50 人	2023年11月 673 人	2023年 200 人	415%	目標が達成できており、第3期計画ではKPIを1,300人に見直し、更なる推進を図る予定。
4	共創によるまちづくり	市民が企業や大学等と連携し創出した新規活動の件数	2020年11月 0 件	2023年11月 15 件	2023年 10 件	150%	目標が達成できており、第3期計画ではKPIを20件に見直し、更なる推進を図る予定。
5	共創によるまちづくり	市民が企業や大学等と行った調査やワークショップの回数	2020年11月 5 件	2023年11月 8 件	2023年 20 件	20%	目標達成度が低いため、第3期計画では進捗管理の徹底を行い取組達成へ向け推進を図る予定。
6	女性の社会進出の礎	デジタル技術を活用した活動創出に関する女性を中心とした学習機会への参加人数	2020年7月 8 人	2023年11月 83 人	2023年 100 人	82%	順調に進捗しており引き続き第3期計画で進捗を確認していく。
7	女性の社会進出の礎	デジタル技術を活用して地域の魅力を発信した女性を中心とした市民の人数	2020年7月 0 人	2023年11月 138 人	2023年 50 人	276%	目標が達成できており、第3期計画ではKPIを200人に見直し更なる推進を図る予定。

（3）第2期SDGs未来都市計画の進捗評価結果を踏まえた総括

●特筆すべき事業内容 市民への学習機会の提供など、SDGsの普及啓発に関する指標については目標を大きく超える実績が得られた。
●成果 女性人材の育成を目的としたSNS活用ワークショップが盛況となるなど、地域の魅力発信（2－(7)）に熱心な人が多く、女性に関する指標は総じて良好な実績が得られた。
●課題 自然資産の活用、民間企業との連携事業による活動（1－(5)）、売上高（1－(6)）についてなど経済面での指標があまり伸びていないため、何らかの推進策を考える必要がある。また、鳥獣による農産物被害（1－(7)）も年による増減が大きく、必ずしも被害を抑えきれていない現状となっている。 進捗の状況が思わしくないものについては、コロナという外的要因が考えられるものの、今一度、2030年の目標達成に向けたロードマップを確認し、推進を図る。白山ソサエティで雇用または事業委託する女性の人数（1－(2)）、自然資産の活用、民間企業との連携事業による売上高（1－(6)）については、まったく進捗が図られておらず、進捗管理の徹底を図るとともに、原因究明と目標達成に向けた取り組みを推進する。
●今後の展望 第2期計画の反省を踏まえ、2030年の目標を達成できるよう、引き続き将来につながるような方策を検討する必要がある。

（4）有識者からの取組に対する評価

・「白山ソサエティ」への進出・参画企業、起業する女性の数などを強気でKPI設定し、女性の社会進出を後押しする本気度が読み取れており、今後も具体的な事業推進を期待したい。 ・コロナ禍の影響など、厳しい状況が続いたことが推察される内容である。当初計画からの時間経過も踏まえ、改めて、着実に進められる計画の策定と推進を進めていただきたい。
